

# 町政を問う

## 各小中学校の給食は地元産で



角田 秀明 議員

### 地場産食材の一層の利用促進を図る

#### 地産地消について

**角田** 矢吹町にある小・中学校そして保育所では、矢吹町内で生産されている農産物、米や野菜、みそなどを食べているのかを伺いたい。

**町長** 平成17年度に矢吹町地産地消推進会議を設置し、学校給食の現場においては、特に矢吹中学校の米飯給食における地元産米の利用促進のため、JA東西しらかわ及びJA白河からの地元産米の契約納入を、



矢中の昼食状況

町・教育委員会、中学校及びJAとの4者契約により行ってきたております。

また、地場産食材の一層の利用促進を図るため推進会議に町内の納入組合及び産直団体との話し合いのテーブルを設け、取り組んできたところである。

#### 館沢～田内線の今後の整備について

**角田** 高速道路から我々の地域までは約2km、お金をかけないで歩道の整備をする考えは。

**町長** 現在、国道4号線から矢吹霊香苑の区間居については、平成21年度事業完了に向け鋭意努力をしている。矢吹霊香苑から田内地内までの区間については、平成18年度凍上災害事業で舗装工事を実施し、路面の整備を行いました。

また、本路線の車道幅員は、通学路の歩行者や自転車利用者の専用となる歩道の確保についても、既存道路の効率的な利用をしながら整備を計画的に進めてまいりたい。

#### 田町～大池線の幹線、大池7号線ほか3路線について

**角田** この町道は、大池公園に続く道路として多くの町民の皆さんが利用をし、また農作業になくはならない道路であり、また三光稲荷神社が古くから町民の祭りごとに寄与している。将来的にこの3路線について、どのような計画があるか伺いたい。

**町長** 田町・大池線道路整備事業の進捗状況については、第2工区の鏡石境付近、延長48メートルの工事を今年度完了する予定である。

第一工区の妙見食堂から大池公園までの区間については、用地買収及び物件補償を完了し、平成20年度予定している本工事に先立ち、今年度、側溝整備工事を実施する予定。

大池7号線ほか3路線の整備については、地域の生活道路で大池公園の外周道路に接続する道路であり、田町、大池線が完了した後、計画的に進めてまいりたい。



館沢～田内線

#### 合併について

**角田** 合併を進めながら自主自立の町づくりを進めるといった考えはなくなったのかを伺いたい。

**町長** 合併については、今後とも近隣町村の動向と町民の合併機運等の声を的確に把握し、持続可能な公共サービスの必要な自治体のあり方等について引き続き検討していかねばならない。

矢吹町の現状は今、合併の議論前にまず取り組まなければならない課題があり、今年度からスタートした財政3カ年計画を確実に達成し、将来にわたる確かな財政基盤をしっかりと構築することである。



大木 義正 議員

# 財政再建進捗状況は

## 19年度達成率は6割

### 財政再建について

**大木** 今年度から取り組んでいる財政再建3カ年計画は当初計画どおり、あるいは目標どおり進んでいるのか。計画どおり、あるいは目標どおりでないとするれば相違点は何か。今後の見通しはどのようなかお伺いいたします。

**町長** 6月議会定例会において答弁したとおり、課ごとに課の運営方針等目標を定め、これに財政再建3カ年計画に係る平成19年度の実施項目についても位置づけて、年間スケジュールとして目標を定め計画的に取り組んでいる。

進捗状況は、効果目標額約2億円に対して約1億2000万円の実績で、達成率6割となっている。

当初計画との相違点と今後の見通しについては、公的資金の補償金免除繰上償還制度が今年8月に制度化されたことから、その許可を受けるべく国・県と協議を進めており、全額認められれば、現計画に計上した繰上償還による効果額より3年間で約8000万程多く見込めると試算している。

### 全国学力テストについて

**大木** 文部科学省は今年4月に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に43年ぶりに実施した全国学力テストの結果を公表しましたが、矢吹町の小中学校での結果はどうだったのか。

また、結果の分析と課題克服のための町としての取り組みはどのように考えているのかお伺いいたします。



町有未利用財産の活用

**教育長** 町内4小学校全体での正答率を見ると、国語・算数のA問題では、県平均、全国平均とほぼ同じであり、国語・算数のB問題では、県平均、全国平均より若干下回りました。一方中学校では、国語・数学のA問題、B問題ともに県平均、全国平均より若干下回っている。

教育委員会としては、学方向上推進支援会議を中心に、教育ボランティアの方々の更なる協力を得ながら、

基礎学力の向上を図るための取り組みに対して引き続き支援を行ってまいります。

### いじめ・校内暴力不登校について

**大木** 町内の各小学校と中学校における、いじめ、校内暴力、不登校などの問題行動と呼ばれるものはどの位あるのか。問題行動を防ぐための対策と取り組みはどうしているのか。

また、問題解決へ向けての取り組みはどうするのかお伺いいたします。

**教育長** いじめについては、小中学校でそれぞれ数件、校内暴力については、小中学校とも0件というところで、不登校については、小学校で数名、中学校では10名を超える数となっている。

不登校については未然防止のための一つとして教職員の理解を深める研修を各学校で実施している。いじめ、暴力行為及び不登校については、引き続き絶無を期して努力するよう各学校に働きかけてまいります。